

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2025 年 7 月 9 日

株式会社ナガセ

東進ハイスクール・東進衛星予備校

21,951 名の高校生が参加 どのように生きるかを考え、高い志を抱く 2025 志作文コンクール 優秀者発表 最優秀賞を含む志作文 BEST3を全文掲載！

東進ハイスクール・東進衛星予備校を運営する株式会社ナガセ(本社:東京都武蔵野市 代表取締役社長 永瀬昭幸)は、全国の東進に通う高2生・高1生を対象に志作文コンクールを実施し、1次審査および2次審査により優秀者 30 名を決定いたしました。21,951 名の応募の中から選ばれた優秀者には、その栄誉を称え東進ドットコムで氏名を公表するとともに、学習応援のために褒賞品を授与いたしました。また、特に優秀な「志作文」はウェブサイト上で公開しています。

努力の原動力である志を深める、毎年恒例のコンクール

21,951 名の高2生・高1生が参加

東進は、将来をどう生きるか、そして何を成し遂げたいのかという「努力の原動力」となる志を持つことを大切にしています。志が明確になれば、それを達成するための中間目標である第一志望校合格に向けた受験勉強にも全力で取り組みます。

志作文は、志を明確にするための大きなステップです。興味・関心のあることや漠然とした夢について思いを巡らせ、時には仲間たちと意見交換をしながら、考えを深めていく。そして深まった考えを文章化することで、志が明確化していきます。志作文にしっかりと取り組んだ生徒は、その後の努力量が違います。

志作文に、全国の東進生が切磋琢磨して前向きに取り組めるよう、東進では毎年「志作文コンクール」を実施しています。6回目を迎えた本年は 21,951 名の東進生(高2生・高1生)の課題作文の提出があり、1次審査で 50 名が選抜されました。2次審査では、全国から選ばれた高校生たちが、互いの志の実現に向けたディスカッションを実施し、さらに志を深めます。参加者は仲間との対話・議論を経てより深まった志作文を提出。その中から 30 名の優秀者が決定しました。

多くの東進生にとって、日本・社会・世界の未来に向き合い、自分がどう生きていきたいかを考え、具体化して、目の前の志望校合格という目標、そして未来に向かって新たな一歩を踏み出す機会となりました。

新しい世界を築いていくのは、若く可能性に溢れた未来のリーダーたち

2025

第6回 東進

志作文コンクール

将来をどう生きるか!何を成すか!
全国の高校生が真剣に考えた答えです

対象:東進に通う全国の高2生・高1生
東進学力POSからエントリーしてください

2025 東進 志作文コンクール実施要項

○対象：東進に通う高2生・高1生

○選抜方法：1次審査…事前提出の課題文による審査で50名を選抜

2次審査…課題文およびグループディスカッションによる審査で優秀者30名を決定

○課題文提出期間：2025年4月21日(月)～5月30日(金)

○2次審査実施日：6月15日(日)

○最優秀者発表：6月23日(月)

＜課題＞

1、あなたは、どう生きていきたいですか。夢・志を教えてください。

2、それを実現するために、これからどのように行動していこうと考えますか。

参加者は、課題に基づき1,200字以上で自分の夢・志を表現した作文を提出。21,951名の志作文の中から、1次審査で50名が選抜されました。2次審査では、全国から選抜された高校生がオンラインで集い、志に関するディスカッションを実施。意欲ある仲間から刺激を受け、対話で考えを深めたうえで、再度、1,600字以上の志作文を提出しました。志作文は「①夢・志と人生設計の明確さ」「②社会・世界に対する貢献」「③未来への計画と構想力」「④実現に向けた行動・取り組み」「⑤背景理解・情報の活用」の5つの項目で厳正に評価。2次審査では、「ディスカッション・発表における姿勢と人物性」の項目も加えて、30名の優秀者を選出しました。

優秀者30名と優秀志作文BEST3を、東進ドットコムで公開

21,951名の応募の中から2次審査を経て優秀者に選出された30名の氏名・高校名・学年を、東進志作文コンクールウェブサイト(https://www.toshin.com/essay_competition/)で公開しています。

また、特に優秀だった志作文(2次審査時の課題作文)3つを全文掲載しています。

＜優秀志作文を書いた生徒の志：作文タイトル＞

1位. 教育を“設計”するエンジニアになりたい

手書きの作文を公開中

2位. 無力な自分からの脱却(小児科の研究医)

3位. 情報技術で教育格差のない未来へ

学習応援のために、褒賞品を授与しています

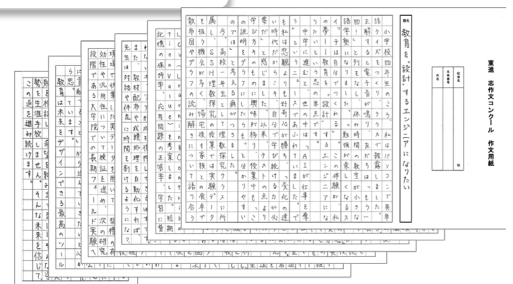
教育をとりまく環境は、AIやICTの技術の発展により大きく進歩し、その可能性は無限に広がっています。

これからの学習を応援するために、東進から優秀者の皆さんに、下記を贈呈します。

○2次審査で決定した上位30名…「MacBook Air」

○1次審査を突破し、2次審査で惜しくも30位に届かなかった生徒20名…「iPad」

東進 志作文コンクール ウェブサイト はこちら https://www.toshin.com/essay_competition/



【株式会社ナガセについて】

1976 年創立。日本最大の民間教育ネットワークを展開するナガセは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財」の育成に取り組んでいます。

有名講師陣と最先端の志望校対策で東大現役合格実績日本一の「東進ハイスクール」「東進衛星予備校」、シェアNO. 1の『予習シリーズ』と最新のAI学習で中学受験界をリードする「四谷大塚」、早期先取り学習で難関大合格を実現する「東進中学NET」、私大総合・学校推薦型選抜(AO・推薦入試)合格日本一の「早稲田塾」、幼児から英語で学ぶ力を育む「東進こども英語塾」、メガバンク、大手メーカー等の多くの企業研修を担う「東進ビジネススクール」、優れた AI 人財の育成を目指す「東進デジタルユニバーシティ」、いつでもどこでもすべての小学生・中学生が最新にして最高の教育を受けられる「東進オンライン学校」、幼児～中学生対象の世界標準のプログラミング学習「東進 CODE MONKEY」など、幼・小・中・高・大・社会人一貫教育体系を構築しています。

また、東京五輪で競泳個人メドレー2冠の大橋悠依をはじめ、のべ 53 名のオリンピックを輩出する「イトマンスイミングスクール」は、これからも金メダル獲得と日本競泳界のさらなるレベルアップを目指します。

学力だけではなく心知体のバランスのとれた「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」ためにナガセの教育ネットワークは、これからも進化を続けます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

株式会社ナガセ 広報部 担当：市村(いちむら)、海老根(えびね)

TEL:0422-44-9001 Mail:pub@toshin.com